

一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例をここに公布する。

平成 18 年 3 月 28 日

岩手県知事 増 田 寛 也

岩手県条例第 31 号

一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例（昭和 31 年岩手県条例第 52 号）の一部を次のように改正する。

	改正前	改正後
1	<p>(特殊勤務手当の種類)</p> <p>第 2 条 特殊勤務手当の種類は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>(5) <u>環境衛生検査業務手当</u></p> <p>(6)～(12) [略]</p> <p>(13) <u>医師手当</u></p> <p>(14) [略]</p> <p>(15) [略]</p> <p>(16) [略]</p> <p>(17) [略]</p> <p>(18) [略]</p> <p>(19) [略]</p> <p>(20) [略]</p> <p>(21) [略]</p> <p>(22) [略]</p> <p>(23) [略]</p> <p>(24) [略]</p> <p>(25) [略]</p> <p>(26) [略]</p> <p>(27) [略]</p> <p>(28) <u>通信作業手当</u></p> <p>(29) [略]</p> <p>(30) [略]</p> <p>(31) [略]</p> <p>(32) [略]</p> <p>(33) [略]</p> <p>(34) [略]</p> <p>(35) [略]</p> <p>(36) [略]</p> <p>(37) [略]</p> <p>(38) [略]</p> <p>(39) [略]</p> <p>(40) [略]</p> <p>(徴税手当)</p> <p>第 3 条 徴税手当は、次に掲げる職員に対して、支給する。</p> <p>(1) 地方振興局企画総務部又は税務部に勤務し、県</p>	<p>(特殊勤務手当の種類)</p> <p>第 2 条 特殊勤務手当の種類は、次のとおりとする。</p> <p>(1)～(4) [略]</p> <p>(5) <u>環境衛生検査等業務手当</u></p> <p>(6)～(12) [略]</p> <p>(13) [略]</p> <p>(14) [略]</p> <p>(15) [略]</p> <p>(16) [略]</p> <p>(17) [略]</p> <p>(18) [略]</p> <p>(19) [略]</p> <p>(20) [略]</p> <p>(21) [略]</p> <p>(22) [略]</p> <p>(23) [略]</p> <p>(24) [略]</p> <p>(25) [略]</p> <p>(26) [略]</p> <p>(27) [略]</p> <p>(28) [略]</p> <p>(29) [略]</p> <p>(30) [略]</p> <p>(31) [略]</p> <p>(32) [略]</p> <p>(33) [略]</p> <p>(34) [略]</p> <p>(35) [略]</p> <p>(36) [略]</p> <p>(37) [略]</p> <p>(38) [略]</p> <p>(39) <u>海外事務所勤務手当</u></p> <p>(徴税手当)</p> <p>第 3 条 徴税手当は、次に掲げる職員に対して、支給する。</p> <p>(1) <u>広域振興局税務部、広域振興局総合支局地域</u></p>

<p>税の賦課徴収に関する業務に従事する職員（地方振興局企画総務部の部長の職にある者を除く。）</p>	<p><u>支援部又は地方振興局企画総務部若しくは税務部</u>に勤務し、<u>県税の賦課徴収に関する業務に従事する職員（広域振興局総合支局地域支援部又は地方振興局企画総務部の部長の職にある者を除く。）</u></p>
<p>(2) 総務部税務課、地方振興局企画総務部又は東京事務所勤務し、<u>県税の賦課徴収に関する業務で人事委員会の定めるものに従事する職員（地方振興局企画総務部に勤務する職員にあつては、部長の職にある者に限る。）</u></p>	<p>(2) 総務部税務課、<u>広域振興局総合支局地域支援部、地方振興局企画総務部又は東京事務所勤務し、県税の賦課徴収に関する業務で人事委員会の定めるものに従事する職員（広域振興局総合支局地域支援部又は地方振興局企画総務部に勤務する職員にあつては、部長の職にある者に限る。）</u></p>
<p>2 [略] (放射線取扱手当)</p>	<p>2 [略] (放射線取扱手当)</p>
<p>第5条 放射線取扱手当は、<u>保健所、工業技術センター、</u>生物学研究所又は都南の園に勤務する職員が、次に掲げる作業に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) <u>工業用エックス線透過検査装置を使用して行う鋼その他の金属の溶接部等の非破壊検査の作業</u></p> <p>(4) [略]</p>	<p>第5条 放射線取扱手当は、保健所、生物学研究所又は都南の園に勤務する職員が、次に掲げる作業に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) [略]</p>
<p>2 [略] (環境衛生検査業務手当)</p>	<p>2 [略] (環境衛生検査等業務手当)</p>
<p>第5条の2 <u>環境衛生検査業務手当</u>は、環境生活部産業廃棄物不法投棄緊急特別対策室、<u>地方振興局保健福祉環境部</u>又は保健所に勤務する環境衛生指導員が、次に掲げる業務に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)・(2) [略]</p>	<p>第5条の2 <u>環境衛生検査等業務手当</u>は、環境生活部産業廃棄物不法投棄緊急特別対策室、<u>広域振興局、広域振興局総合支局若しくは地方振興局の保健福祉環境部若しくは保健所に勤務する環境衛生指導員又は北上川上流流域下水道事務所に勤務する職員</u>が、次に掲げる業務に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) <u>流域下水道の排水施設の巡回検査又はポンプ施設及び終末処理施設の維持管理作業の監督の業務</u></p>
<p>2 [略] (社会福祉業務手当)</p>	<p>2 [略] (社会福祉業務手当)</p>
<p>第5条の3 社会福祉業務手当は、次に掲げる職員に対して、支給する。</p> <p>(1) <u>地方振興局保健福祉環境部</u>に勤務し、生活保護法（昭和25年法律第144号）の規定に基づき専らその業務に従事する職員及び当該職員を指導監督する業務に専ら従事する職員</p> <p>(2) [略]</p>	<p>第5条の3 社会福祉業務手当は、次に掲げる職員に対して、支給する。</p> <p>(1) <u>広域振興局、広域振興局総合支局又は地方振興局の保健福祉環境部</u>に勤務し、生活保護法（昭和25年法律第144号）の規定に基づき専らその業務に従事する職員及び当該職員を指導監督する業務に専ら従事する職員</p> <p>(2) [略]</p>

<p>(3) <u>地方振興局保健福祉環境部</u>に勤務し、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）、老人福祉法（昭和38年法律第133号）、身体障害者福祉法又は知的障害者福祉法の規定に基づき要保護者、援護、育成又は更生の措置を要する者等に面接して行う指導、相談又は調査の業務に従事する職員（第1号に掲げる職員を除く。）</p>	<p>(3) <u>広域振興局、広域振興局総合支局又は地方振興局の保健福祉環境部</u>に勤務し、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）、老人福祉法（昭和38年法律第133号）、身体障害者福祉法又は知的障害者福祉法の規定に基づき要保護者、援護、育成又は更生の措置を要する者等に面接して行う指導、相談又は調査の業務に従事する職員（第1号に掲げる職員を除く。）</p>
<p>2 [略] (有害物取扱手当)</p>	<p>2 [略] (有害物取扱手当)</p>
<p>第8条 有害物取扱手当は、保健所、病虫害防除所、<u>家畜保健衛生所、環境保健研究センター、工業技術センター</u>、生物工学研究所、農業研究センター、林業技術センター、水産技術センター、県民生活センター、産業技術短期大学校、高等技術専門校、職業能力開発センター、農業大学校、農業改良普及センター、県立の高等学校又は総合教育センターに勤務する職員が、労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）第22条第1項第3号から第5号までに掲げる業務に従事したときに、支給する。</p>	<p>第8条 有害物取扱手当は、保健所、病虫害防除所、<u>家畜保健衛生所、環境保健研究センター、生物工学研究所、農業研究センター、林業技術センター、水産技術センター、県民生活センター、産業技術短期大学校、高等技術専門校、職業能力開発センター、農業大学校、農業改良普及センター、県立の高等学校又は総合教育センター</u>に勤務する職員が、労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）第22条第1項第3号から第5号までに掲げる業務に従事したときに、支給する。</p>
<p>2 [略] (衛生検査業務手当)</p>	<p>2 [略] (衛生検査業務手当)</p>
<p>第8条の2 衛生検査業務手当は、保健所、環境保健研究センター又は<u>都南の園</u>に勤務する職員に対して、次に掲げる場合に、支給する。</p>	<p>第8条の2 衛生検査業務手当は、保健所、環境保健研究センター、<u>都南の園又は北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員に対して、次に掲げる場合に、支給する。</p>
<p>(1)～(3) [略]</p>	<p>(1)～(3) [略]</p>
<p>2 [略] (公害防止等業務手当)</p>	<p>2 [略] (公害防止等業務手当)</p>
<p>第8条の3 公害防止等業務手当は、環境生活部環境保全課若しくは資源循環推進課、<u>地方振興局保健福祉環境部</u>又は環境保健研究センターに勤務する職員が、公害の防止等県民の生活環境の保全のため、次に掲げる立入検査等の業務に従事したときに、支給する。</p>	<p>第8条の3 公害防止等業務手当は、環境生活部環境保全課若しくは資源循環推進課、<u>広域振興局、広域振興局総合支局若しくは地方振興局の保健福祉環境部</u>又は環境保健研究センターに勤務する職員が、公害の防止等県民の生活環境の保全のため、次に掲げる立入検査等の業務に従事したときに、支給する。</p>
<p>(1)～(7) [略]</p>	<p>(1)～(7) [略]</p>
<p>2 [略] <u>(医師手当)</u></p>	<p>2 [略]</p>
<p>第9条 医師手当は、保健福祉部医療国保課、保健所、<u>都南の園</u>又は精神保健福祉センターに勤務し、医事に関する調査に従事する医師及び歯科医師のうち人事</p>	<p>第9条から第9条の3まで 削除</p>

<p>委員会が定める者に対して、支給する。</p> <p>2 前項の手当の額は、勤務1月につき24,500円の範囲内で人事委員会の定める額とする。</p> <p>第9条の2及び第9条の3 削除</p> <p>(爆発物取締業務手当)</p> <p>第9条の5 爆発物取締業務手当は、総務部総合防災室、地方振興局企画総務部若しくは工業技術センターに勤務する職員又は警察職員が、次に掲げる検査等の作業に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(犯則取締等手当)</p> <p>第9条の6 犯則取締等手当は、総務部税務課、地方振興局企画総務部、漁業取締事務所又は東京事務所に勤務する職員(地方振興局企画総務部に勤務する職員にあっては、部長の職にある者に限る。)が、次に掲げる業務に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(家畜保健衛生業務手当)</p> <p>第9条の12 家畜保健衛生業務手当は、地方振興局農政部若しくは農林部、家畜保健衛生所又は農業研究センターに勤務し、家畜保健衛生業務に従事する職員のうち人事委員会が定める者に対して、支給する。</p> <p>2 [略]</p> <p>(用地交渉等手当)</p> <p>第9条の13 用地交渉等手当は、農林水産部農村建設課、県土整備部県土整備企画室若しくは港湾空港課、地方振興局農政部、農林部、水産部、土木部若しくは土木事務所、北上川上流流域下水道事務所、花巻空港事務所、教育委員会事務局学校財務課又は警察本部会計課に勤務する職員が、現地において、土地の取得等に係る交渉又はその事業の施行により生ずる損失の補償に係る交渉(国、地方公共団体その他人事委員会が定める者との交渉を除く。)の業務に従事したときに、支給する。</p> <p>2 [略]</p>	<p>(爆発物取締業務手当)</p> <p>第9条の5 爆発物取締業務手当は、総務部総合防災室、<u>広域振興局総務部</u>若しくは地方振興局企画総務部に勤務する職員又は警察職員が、次に掲げる検査等の作業に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(犯則取締等手当)</p> <p>第9条の6 犯則取締等手当は、総務部税務課、<u>広域振興局総合支局地域支援部</u>、地方振興局企画総務部、漁業取締事務所又は東京事務所に勤務する職員(<u>広域振興局総合支局地域支援部</u>又は地方振興局企画総務部に勤務する職員にあっては、部長の職にある者に限る。)が、次に掲げる業務に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>2 [略]</p> <p>(家畜保健衛生業務手当)</p> <p>第9条の12 家畜保健衛生業務手当は、<u>広域振興局農林部</u>、<u>広域振興局総合支局農林部</u>、地方振興局農政部若しくは農林部、家畜保健衛生所又は農業研究センターに勤務し、家畜保健衛生業務に従事する職員のうち人事委員会が定める者に対して、支給する。</p> <p>2 [略]</p> <p>(用地交渉等手当)</p> <p>第9条の13 用地交渉等手当は、農林水産部農村建設課、県土整備部県土整備企画室若しくは港湾空港課、<u>広域振興局農林部</u>若しくは土木部、<u>広域振興局総合支局農林部</u>若しくは土木部、地方振興局農政部、農林部、水産部、土木部若しくは土木事務所、北上川上流流域下水道事務所、花巻空港事務所、<u>教育委員会事務局教育企画室</u>又は警察本部会計課に勤務する職員が、現地において、土地の取得等に係る交渉又はその事業の施行により生ずる損失の補償に係る交渉(国、地方公共団体その他人事委員会が定める者との交渉を除く。)の業務に従事したときに、支給する。</p> <p>2 [略]</p>
---	---

<p>(高所作業手当)</p> <p>第9条の14 高所作業手当は、<u>地域振興部複合施設整備課</u>、<u>農林水産部森林保全課</u>、<u>農林水産部森林保全課</u>、<u>県土整備部建築住宅課</u>、<u>総務部管財課</u>、<u>地方振興局保健福祉環境部</u>、<u>農政部</u>、<u>林務部</u>、<u>農林部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>、<u>北上川上流流域下水道事務所</u>、<u>環境保健研究センター</u>、<u>花巻空港事務所若しくは教育委員会事務局学校財務課</u>に勤務する職員又は警察職員が、地上又は水面上10メートル以上の足場の不安定な箇所で測量、調査若しくは工事の監督の作業又は保守点検の作業で人事委員会の定めるものに従事したときに、支給する。</p>	<p>(高所作業手当)</p> <p>第9条の14 高所作業手当は、<u>農林水産部森林保全課</u>、<u>県土整備部建築住宅課</u>、<u>総務部管財課</u>、<u>広域振興局保健福祉環境部</u>、<u>農林部若しくは土木部</u>、<u>広域振興局総合支局保健福祉環境部</u>、<u>農林部若しくは土木部</u>、<u>地方振興局保健福祉環境部</u>、<u>農政部</u>、<u>林務部</u>、<u>農林部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>、<u>北上川上流流域下水道事務所</u>、<u>環境保健研究センター</u>、<u>花巻空港事務所若しくは教育委員会事務局教育企画室</u>に勤務する職員又は警察職員が、地上又は水面上10メートル以上の足場の不安定な箇所で測量、調査若しくは工事の監督の作業又は保守点検の作業で人事委員会の定めるものに従事したときに、支給する。</p>
<p>2 [略]</p> <p>(坑内作業手当)</p>	<p>2 [略]</p> <p>(坑内作業手当)</p>
<p>第9条の15 坑内作業手当は、<u>地方振興局農政部</u>、<u>農林部</u>、<u>水産部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>又は<u>北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員が、トンネルの坑内でトンネルの掘削作業に従事したときに、支給する。</p>	<p>第9条の15 坑内作業手当は、<u>広域振興局農林部若しくは土木部</u>、<u>広域振興局総合支局農林部若しくは土木部</u>、<u>地方振興局農政部</u>、<u>農林部</u>、<u>水産部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>又は<u>北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員が、トンネルの坑内でトンネルの掘削作業に従事したときに、支給する。</p>
<p>2 [略]</p> <p>(深所作業手当)</p>	<p>2 [略]</p> <p>(深所作業手当)</p>
<p>第9条の16 深所作業手当は、<u>地方振興局農政部</u>、<u>農林部</u>、<u>水産部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>又は<u>北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員が、橋脚の基礎工事その他港湾、河川等におけるこれに類する工事において、水面下4メートル以上の深所で行う作業に従事したときに、支給する。</p>	<p>第9条の16 深所作業手当は、<u>広域振興局農林部若しくは土木部</u>、<u>広域振興局総合支局農林部若しくは土木部</u>、<u>地方振興局農政部</u>、<u>農林部</u>、<u>水産部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>又は<u>北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員が、橋脚の基礎工事その他港湾、河川等におけるこれに類する工事において、水面下4メートル以上の深所で行う作業に従事したときに、支給する。</p>
<p>2 [略]</p> <p>(災害応急作業等手当)</p>	<p>2 [略]</p> <p>(災害応急作業等手当)</p>
<p>第9条の17 災害応急作業等手当は、次に掲げる場合に支給する。</p> <p>(1) <u>地方振興局農政部</u>、<u>林務部</u>、<u>農林部</u>、<u>水産部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>又は<u>北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員が、次に掲げる作業に従事したとき。</p> <p>ア・イ [略]</p>	<p>第9条の17 災害応急作業等手当は、次に掲げる場合に支給する。</p> <p>(1) <u>広域振興局農林部若しくは土木部</u>、<u>広域振興局総合支局農林部若しくは土木部</u>、<u>地方振興局農政部</u>、<u>林務部</u>、<u>農林部</u>、<u>水産部</u>、<u>土木部若しくは土木事務所</u>又は<u>北上川上流流域下水道事務所</u>に勤務する職員が、次に掲げる作業に従事したとき。</p> <p>ア・イ [略]</p>

<p>(2)・(3) [略]</p> <p>2・3 [略]</p> <p>(道路上作業手当)</p> <p>第9条の19 道路上作業手当は、地方振興局土木部又は土木事務所に勤務する職員が、交通を遮断することなく行う道路の維持修繕の作業その他の作業で人事委員会の定めるものに従事したときに、支給する。</p> <p>2 [略]</p> <p>(通信作業手当)</p>	<p>(2)・(3) [略]</p> <p>2・3 [略]</p> <p>(道路上作業手当)</p> <p>第9条の19 道路上作業手当は、<u>広域振興局若しくは広域振興局総合支局の土木部又は地方振興局土木部若しくは土木事務所に勤務する職員が、交通を遮断することなく行う道路の維持修繕の作業その他の作業で人事委員会の定めるものに従事したときに、支給する。</u></p> <p>2 [略]</p>
<p>第10条 通信作業手当は、警察本部地域課に勤務する職員が、無線電話機による通信作業に従事したときに、<u>支給する。</u></p> <p>2 前項の手当の額は、勤務1月につき3,100円の範囲内で人事委員会の定める額とする。</p> <p>(潜水手当)</p>	<p>第10条 削除</p> <p>(潜水手当)</p>
<p>第20条 [略]</p>	<p>第20条 [略]</p> <p>(海外事務所勤務手当)</p> <p>第20条の2 海外事務所勤務手当は、外国に所在する機関であつて人事委員会規則で定めるものに勤務する職員に支給する。</p> <p>2 前項の手当の額は、勤務1月につき、同項の職員がその勤務する国に所在する在外公館のうち人事委員会規則で定めるものに勤務する外務公務員であるとした場合に在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律（昭和27年法律第93号。以下この項において「法」という。）の規定により支給されることとなる在勤手当のうち、<u>在勤基本手当、住居手当、配偶者手当及び子女教育手当の額（在勤基本手当にあつては、法の規定による額に100分の80を乗じて得た額とする。）の合計額とする。</u>この場合において、配偶者手当の額に相当する額が支給される場合にあつては、一般職の職員の給与に関する条例第27条の規定により当該職員に支給される扶養手当（配偶者に係る部分に限る。）の額を当該合計額から減じた額とする。</p> <p>3 第1項の手当に租税が課せられる場合における同項の手当の額は、前項の規定にかかわらず、同項の規定による額にその租税の額に相当する額を加算した額とする。</p>

<p>(併給禁止)</p> <p>第21条 [略]</p> <p>2・3 [略]</p> <p>4 職員が、次の表の左欄に掲げる特殊勤務手当の支給される月又は日（漁ろう手当及び用船手当にあっては、当該手当の支給される期間）については、当該手当に対応する同表の右欄に掲げる特殊勤務手当は、支給しない。ただし、この規定により支給されないこととなる同表の右欄に掲げる特殊勤務手当の額が当該手当に対応する同表の左欄に掲げる特殊勤務手当の額を超えるときは、その同表の右欄に掲げる1の特殊勤務手当を支給し、当該手当に対応する同表の左欄に掲げる特殊勤務手当は、支給しない。</p> <table border="1" data-bbox="316 757 865 1400"> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> <tr><td>環境衛生検査業務手当</td><td>[略]</td></tr> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> <tr><td>衛生検査業務手当（第8条の2第1項第1号又は第2号に掲げる衛生検査業務手当に限る。）</td><td>環境衛生検査業務手当 [略]</td></tr> <tr><td>公害防止等業務手当</td><td>[略]</td></tr> <tr><td>医師手当</td><td>精神保健福祉業務手当</td></tr> <tr><td>家畜保健衛生業務手当</td><td>[略]</td></tr> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> </table>	[略]		環境衛生検査業務手当	[略]	[略]		[略]		衛生検査業務手当（第8条の2第1項第1号又は第2号に掲げる衛生検査業務手当に限る。）	環境衛生検査業務手当 [略]	公害防止等業務手当	[略]	医師手当	精神保健福祉業務手当	家畜保健衛生業務手当	[略]	[略]		<p>(併給禁止)</p> <p>第21条 [略]</p> <p>2・3 [略]</p> <p>4 職員が、次の表の左欄に掲げる特殊勤務手当の支給される月又は日（漁ろう手当及び用船手当にあっては、当該手当の支給される期間）については、当該手当に対応する同表の右欄に掲げる特殊勤務手当は、支給しない。ただし、この規定により支給されないこととなる同表の右欄に掲げる特殊勤務手当の額が当該手当に対応する同表の左欄に掲げる特殊勤務手当の額を超えるときは、その同表の右欄に掲げる1の特殊勤務手当を支給し、当該手当に対応する同表の左欄に掲げる特殊勤務手当は、支給しない。</p> <table border="1" data-bbox="911 757 1460 1400"> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> <tr><td>環境衛生検査等業務手当</td><td>[略]</td></tr> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> <tr><td>衛生検査業務手当（第8条の2第1項第1号又は第2号に掲げる衛生検査業務手当に限る。）</td><td>環境衛生検査等業務手当 [略]</td></tr> <tr><td>公害防止等業務手当</td><td>[略]</td></tr> <tr><td>家畜保健衛生業務手当</td><td>[略]</td></tr> <tr><td>[略]</td><td></td></tr> </table>	[略]		環境衛生検査等業務手当	[略]	[略]		[略]		衛生検査業務手当（第8条の2第1項第1号又は第2号に掲げる衛生検査業務手当に限る。）	環境衛生検査等業務手当 [略]	公害防止等業務手当	[略]	家畜保健衛生業務手当	[略]	[略]	
[略]																																			
環境衛生検査業務手当	[略]																																		
[略]																																			
[略]																																			
衛生検査業務手当（第8条の2第1項第1号又は第2号に掲げる衛生検査業務手当に限る。）	環境衛生検査業務手当 [略]																																		
公害防止等業務手当	[略]																																		
医師手当	精神保健福祉業務手当																																		
家畜保健衛生業務手当	[略]																																		
[略]																																			
[略]																																			
環境衛生検査等業務手当	[略]																																		
[略]																																			
[略]																																			
衛生検査業務手当（第8条の2第1項第1号又は第2号に掲げる衛生検査業務手当に限る。）	環境衛生検査等業務手当 [略]																																		
公害防止等業務手当	[略]																																		
家畜保健衛生業務手当	[略]																																		
[略]																																			
<p>2 (防疫等作業手当)</p> <p>第4条 防疫等作業手当は、職員が、感染症等が発生し、若しくは発生するおそれがある場合又は犬による危害のおそれがある場合において、次に掲げる作業又は業務に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>(4) 動物の愛護及び管理に関する条例（平成17年岩手県条例第35号）<u>第43条第2項</u>の規定に基づく犬の捕獲、同条第7項の規定に基づく犬の処分又は同条例<u>第44条第1項</u>の規定に基づく犬の薬殺の作業</p>	<p>(防疫等作業手当)</p> <p>第4条 防疫等作業手当は、職員が、感染症等が発生し、若しくは発生するおそれがある場合又は犬による危害のおそれがある場合において、次に掲げる作業又は業務に従事したときに、支給する。</p> <p>(1)～(3) [略]</p> <p>(4) 動物の愛護及び管理に関する条例（平成17年岩手県条例第35号）<u>第14条第2項</u>の規定に基づく犬の捕獲、同条第7項の規定に基づく犬の処分又は同条例<u>第15条第1項</u>の規定に基づく犬の薬殺の作業</p>																																		
<p>備考 改正部分は、下線の部分である。</p>																																			
<p>附 則</p>																																			
<p>この条例は、平成18年4月1日から施行する。ただし、表2の項の改正部分は、同年6月1日から施行する。</p>																																			